

広 報 費

小計 1,582,130 円

領 収 書 等 貼 付 用 紙

広報費	頁小計	395780円	備考
-----	-----	---------	----

2022年 5 月 31 日 領 収 書 No. _____

日本共産党町田市議団 様

摘 要	金 額							
	千	百	拾	万	千	百	拾	円
町田市議団ニュース 2022年5・6月号		¥	3	9	5	2	3	0

上記金額を正に領収致しました

あかつき印刷株式会社

東京都渋谷区千駄ヶ谷2-25-2
電話 03-(3497)2031 (代表)



〈ご利用明細票〉 きらぼし銀行

毎度ご利用いただきましてありがとうございます。
東京きらぼしFG どうぞお取引内容をお確かめください。

お取引内容	機番	お取引通番	ご利用年月日
お振込	P2	3136	04-05-31
銀行番号	支店番号	科目	口座番号
0597	0010		*****
万円	5千円	千円	500円
			100円
			50円
			10円
			5円
			1円
			取扱店番
			832
お取引番号	お取引時間	ご利用手数料	お取引金額
4727	08:28	¥550	¥395230
おつり		お取引後残高	

(000006)

みずほ銀行
新宿西口支店
普通預金 1097253
ご アカツキインサツ(カ) 様

業 ニホンキヨウサントウマチタマシキタマシ 様

内 電話 042-724-4030

別紙に貼る。

裏面のご案内もご覧ください。

E01-0420



領 収 書 等 貼 付 用 紙

広報費	頁小計	396,550 円	備考	
-----	-----	-----------	----	--

2022年 9月 8日

領 収 書

No. 266155

日本共産党 町田市議団 様

摘 要	金 額
町田市議団ニュース2022年8・9月号	¥396,000 -

上記金額を正に領収致しました

あかつき印刷株

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-2-3
電 話 03 (3497) 0533



(3)

★ <ご利用明細票> きらぼし銀行

毎度ご利用いただきましてありがとうございます。
東京きらぼしFG とうぞお取引内容をお確かめください。

お取引内容	機番	お取引通番	ご利用年月日
お振込	U5	8460	04-09-08
銀行番号	支店番号	科目	口座番号
0597	0010		*****
万円	5千円	千円	500円
			100円
			50円
			10円
			5円
			1円
			取込店番
			832
お取引番号	お取引時間	ご利用手数料	お取引金額
6020	08:30	¥550	¥396000
	おつり	お取引後残高	

(000002)

みずほ銀行
新宿西口支店
普通預金 1097253
アカツキインサツ(カ) 様

案 二ホンキヨウサントウマチタシキタン 様

内 電話 042-724-4030

別紙に貼る。

(4)

裏面のご案内もご覧ください。 T3106-0892-0926

領 収 書 等 貼 付 用 紙

広報費	頁小計	989,800円	備考	
-----	-----	----------	----	--

2022年12月1日

領 収 書

No. 268038

日本共産党 町田市議団 様

摘 要	金 額
町田市議団ニュース2022年11月号	¥394,460 -

上記金額を正に領収致しました

あかつき印刷株式会社

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-1
電話 03 (3497) 0531



2023年2月24日

領 収 書

No. 269795

日本共産党 町田市議団 様

摘 要	金 額
町田市議団ニュース2023年2・3月号	¥394,460 -

上記金額を正に領収致しました

あかつき印刷株式会社

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-1
電話 03 (3497) 0531



〈ご利用明細票〉きらぼし銀行
毎度ご利用いただきましてありがとうございます。
東京都品川区LFG どちらもお取引内容をお確かめください。

お取引内容	種番	お取引通番	ご利用年月日
お振込	P2	9562	04-12-01
銀行番号	支店番号	科目	口座番号
0597	0010		*****
元金控数	取戻店番		
	832		
お取引番号	お取引時間	ご利用手数料	お取引金額
0977	09:20	¥440	¥394460
おつり	お取引後残高		

(000008)
みずほ銀行
新宿西口支店
普通預金 1097253
アカツキインサツ(カ)様
ニホンキヨウサントウマチダシキタン様
電話 042-724-4030

裏面のご案内もご覧ください。

T3106-0892-0926

別紙に貼

〈ご利用明細票〉きらぼし銀行
毎度ご利用いただきましてありがとうございます。
東京都品川区LFG どちらもお取引内容をお確かめください。

お取引内容	種番	お取引通番	ご利用年月日
お振込	U3	7454	05-02-24
銀行番号	支店番号	科目	口座番号
0597	0010		*****
元金控数	取戻店番		
	832		
お取引番号	お取引時間	ご利用手数料	お取引金額
3909	09:03	¥440	¥394460
おつり	お取引後残高		

(000025)
みずほ銀行
新宿西口支店
普通預金 1097253
アカツキインサツ(カ)様
ニホンキヨウサントウマチダシキタン様
電話 042-724-4030

裏面のご案内もご覧ください。

T3106-0892-0926

〒194-8520

東京都町田市森野2-2-22

町田市役所内

請求書

請求日 2022年5月31日

日本共産党 町田市議団 御中

あかつき印刷株式会社

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2

Tel.03-3497-0531

Fax.03-3497-0043

お客様コード：140224

品名	町田市議団ニュース2022年5・6月号	号数	5・6月号	受注No.	263728
規格	タブロイド 406×273 2頁 4色×4色	数量	88,000	注文No.	263728

内 訳	数 量	金 額	備 考
デザイン・編集代		80,000	
写真撮影代			
制作代			
写真・地紋代		3,400	
表・グラフ代			
版下制作代			
情報処理代			
製版・出力代		12,000	
色校正代		4,000	
送信・受信代			
刷版代		22,400	
印刷代		61,600	
製本・加工代		13,200	
発送結束代			
用紙		127,500	
発送・運賃		35,200	

小 計		359,300	
消 費 税 (10%)		35,930	
切手・ハガキ等立替金			

合計請求金額		¥395,230	
--------	--	----------	--

摘 要	振込先口座 みずほ銀行新宿西口支店 (普・1097253) りそな銀行新宿支店 (普・522185) 中央労働金庫新宿支店 (普・2312142) 郵便振替 00170-8-52646
-----	---

上記の通り御請求申し上げます。

〒194-8520

東京都町田市森野2-2-22

町田市役所内

請求書

請求日 2022年8月31日

日本共産党 町田市議団 御中

あかつき印刷

〒151-0051

東京都渋谷区千駄

Tel.03-3497-0531

Fax.03-3497-0043



お客様コード：140224

品名	町田市議団ニュース2022年8-9月号	号数	8月号	受注No.	266155
規格	タブロイド 406×273 2頁 4色×4色	数量	88,000	注文No.	266155

内 訳	数 量	金 額	備 考
デザイン・編集代		80,000	
写真撮影代			
制作代			
写真・地紋代		4,100	
表・グラフ代			
版下制作代			
情報処理代			
製版・出力代		12,000	
色校正代		4,000	
送信・受信代			
刷版代		22,400	
印刷代		61,600	
製本・加工代		13,200	
発送結束代			
用紙		127,500	
発送・運賃		35,200	

小 計		360,000	
消 費 税 (10%)		36,000	
切手・ハキ等立替金			

合計請求金額		¥396,000	
--------	--	----------	--

摘 要	振込先口座	みずほ銀行新宿西口支店 (普・1097253) りそな銀行新宿支店 (普・522185) 中央労働金庫新宿支店 (普・2312142) 郵便振替 00170-8-52646
-----	-------	---

上記の通り御請求申し上げます。

〒194-8520

東京都町田市森野2-2-22

町田市役所内

請求書

請求日 2022年11月30日

日本共産党 町田市議団 御中

あかつき印刷株式会社

〒151-0051

東京都渋谷区千駄

Tel.03-3497-0531

Fax.03-3497-0043

お客様コード：140224

品名	町田市議団ニュース2022年11月号	号数	11月号	受注No.	268038
規格	タブロイド 406×273 2頁 4色×4色	数量	88,000	注文No.	268038

内 訳	数 量	金 額	備 考
デザイン・編集代		80,000	
写真撮影代			
制作代			
写真・地紋代		2,700	
表・グラフ代			
版下制作代			
情報処理代			
製版・出力代		12,000	
色校正代		4,000	
送信・受信代			
刷版代		22,400	
印刷代		61,600	
製本・加工代		13,200	
発送結束代			
用紙		127,500	
発送・運賃		35,200	

小 計	358,600
消 費 税 (10%)	35,860
切手・ハガキ等立替金	

合計請求金額	¥394,460
--------	----------

摘 要	振込先口座 みずほ銀行新宿西口支店 (普・1097253) りそな銀行新宿支店 (普・522185) 中央労働金庫新宿支店 (普・2312142) 郵便振替 00170-8-52646
-----	---

上記の通り御請求申し上げます。

〒194-8520

東京都町田市森野2-2-22

町田市役所内

請求書

請求日 2023年2月22日

日本共産党 町田市議団 御中

あかつき印刷

〒151-0051

東京都渋谷区千駄

Tel.03-3497-0531

Fax.03-3497-0043



お客様コード：140224

品名	町田市議団ニュース2023年2・3月号	号数	2・3月号	受注No.	269795
規格	タブロイド 406×273 2頁 4色×4色	数量	88,000	注文No.	269795

内訳	数量	金額	備考
デザイン・編集代		80,000	
写真撮影代			
制作代			
写真・地紋代		2,700	
表・グラフ代			
版下制作代			
情報処理代			
製版・出力代		12,000	
色校正代		4,000	
送信・受信代			
刷版代		22,400	
印刷代		61,600	
製本・加工代		13,200	
発送結束代			
用紙		127,500	
発送・運賃		35,200	

小計		358,600	
消費税 (10%)		35,860	
切手・ハキ等立替金			

合計請求金額		¥394,460	
--------	--	----------	--

摘要	振込先口座	みずほ銀行新宿西口支店 (普・1097253)
		りそな銀行新宿支店 (普・522185)
		中央労働金庫新宿支店 (普・2312142)
		郵便振替 00170-8-52646

上記の通り御請求申し上げます。

2022年
町田市議会
第一回
定例会

18歳までの子ども医療費助成

2023年4月実施へ 日本共産党



第93回三多摩メーデーにて
(左から) 田中美穂、佐々木とも子、細野りゅう子、殿村健一市議

町田市は、「東京都の新たな補助制度を活用し、2023年4月から18歳

所得制限・窓口負担なしを要求

町田市議会2022年第1回定例会が3月9日、30日まで行われました。日本共産党市議団は、市議選でかかげた公約実現に奮闘。市長が提案した2022年度一般会計予算については反対をしました。その理由は、①学校統廃合や図書館削減など公共施設再編推進、②40億円をかける(仮称)国際工芸美術館「体化」整備、③「4つのもり」と多摩都市モノレール前提のまちづくり、④福祉関連事業廃止や削減、国保財政への繰入れ削減などです。市民が出した「本町田小の存続求める請願」や「本町田東小を統合校にしないでください請願」「国保税の値上げを行わないことを求める請願」は賛成少数(共産党は賛成で不採択になりました)。

学校統廃合など公共施設再編計画はやめて、いのちと暮らし、教育優先の予算に転換を!

共産党市議団、一般会計予算に反対討論

までの医療費助成制度を実施できるよ
う準備していく」と、佐々木とも子市
議の一般質問に答えました。現在、子
どもの医療費は乳幼児は無料。中学3
年までは窓口負担200円ですが、昨
年度から所得制限が撤廃され、入院も
薬も無料です。日本共産党市議団は、
18歳まで医療費助成制度が拡充される
にあたり、23区のように所得制限や窓
口負担をなくすよう引き続き求めてい
きます。



中学校全員給食整備計画 進んでいます!

2024年度から順次スタートする
町田市の中学校全員給食。2022年
度予算では、「まちだの中学校給食セ
ンター計画」にもとづき、給食センタ

ーの整備、運営を行う事業者を選ぶ予
算、町田忠生小山エリアの給食センタ
ー整備の準備として旧忠生六小の解体
工事の予算が組まれています。田中市
議が、全員給食の意義を質疑し「給食
は生きた食育の教材。皆が統一したメ
ニューで、栄養をとりながら食を味わ
い、そして食を学んでいくことが大切
」と答弁がありました。市民の皆さんと
一貫して求めてきたことが
反映されています。



「ロシアによるウク
ライナ侵略及び核
による武力威嚇に
対し抗議する決議」
全会一致で可決



日本共産党
町田市議団ニュース

2022年5・6月号

発行●日本共産党町田市議団
町田市森野2-2-22

電話●042-724-4030
FAX●042-724-4042
メール●jcp.machida.shigidan@gmail.com

日本共産党町田市議団 検索

日本共産党
市議団
6月定例会

公共施設再編と民間活力導入で、市(公)の役割どこに!?

“町田駅周辺5つの再編プロジェクト”

—市民不在の計画は見直しを



「図書館集約に市民は反対」

芹ヶ谷公園の「一体的整備」へ、樹木500本を伐採し、国際版画美術館の一部を壊して版画工房と喫茶店を追い出し、国際工芸美術館と体験棟を40億円もかけて整備する計画に市民は反対しています。さるびあ図書館は、存続を求める請願が採択されているのに、駅前再開発に合わせて中央図書館と集約する計画です。市民の声を聞かない「計画」は市民参加で見直すべきです。

芹ヶ谷公園「一体的整備」、
図書館集約に市民は反対

市は、多摩都市モノレール延伸と連動した町田駅周辺での公共施設再編を計画。(A)2つの美術館と芹ヶ谷公園の一体的整備、(B)2つの保健施設の集約、(C)教育センターの複合化、(D)産業支援施設の複合化、(E)図書館の集約の5つ。採算が不明朗なモノレール計画推進の一方、市民生活に必要な公共施設を縮減し、民間活力導入を進めるのは市民サービスの大きな後退につながります。



住宅地に設置された市の横断幕

モノレール延伸と連動した町田駅周辺の公共施設再編

町田市議会2022年第2回定例会が、6月2日から30日まで行われました。石阪市長は、令和4年度施政方針で、2040年に向け、「共創」「デジタル化」、「公共施設再編」を

推進すると述べました。市民の理解が得られていない芹ヶ谷公園パークミュージアム計画事業費が盛り込まれた一般会計補正予算に、日本共産党は反対しました。

生涯学習センターなど民間活力導入を検討

町田駅周辺では他にも公共施設再編が計画されています。ふれあいもっこく館(機能整理)、せりがや会館(他施設へ移転)、町田駅前連絡所(縮小・廃止)、市民フォーラムや生涯学習センター(民間活力導入)、シバヒロ(市有地活用)の検討が2022〜26年度に行われます。検討の視点を「民間事業者とのコラボレーション」としており、民間で利益の出ない公共サービスは削減の対象になりかねません。



中心市街地と原町田大通り

「(仮称)子どもにやさしいまち条例」制定へ

町田市は、子どもの権利を位置付ける「(仮称)子どもにやさしいまち条例」について2023年度制定をめざし取り組むと表明しました。子どもの権利に関する条例の制定については、共産党市議団として求めてきたものです。田中美穂市議は、一般質問で条例制定のプロセスの段階からアンケートの作成などに、当事者の子どもたちが関わって作ることが必要だと求めました。子ども生活部長が、検討部会に高校生、大学生が参加している、子どもセンターでヒアリングを行なっていくと答弁しました。「子どもの権利条約」の具体化がなされるように、引き続き皆さんと取り組んでいきます。



日本共産党
町田市議団ニュース

2022年8・9月号

発行●日本共産党町田市議団
町田市森野2-2-22

電話●042-724-4030
FAX●042-724-4042
メール●jcp.machida.shigidan@gmail.com

日本共産党町田市議団 検索

6月議会 日本共産党の一般質問

CO₂排出ゼロへの施策の拡充を



細野りゅう子市議

細野りゅう子市議は、地球温暖化に歯止めをかけるために、市に再生可能エネルギーや省エネルギー推進策を求めました。市は7月から、家庭用燃料電池(エネファーム)助成を行うと答弁、太陽光など再生可能エネルギーをもっと拡充して、2030年までのCO₂をさらに削減するよう求めました。また、南地域の交通不便地域の公共交通手段確保のために相談があれば説明、支援を行うよう求めました。南1小の建て替え時、南中の敷地内に予定される仮設校舎は小学生に合わせた施設整備や専用の校庭を確保することを確認しました。

芹ヶ谷パークミュージアム計画は市民参加で再検討を

殿村健一市議は、芹ヶ谷公園「芸術の杜」パークミュージアム計画の「一体的整備」について、市民の理解を得られていない計画は白紙に戻し、市民、専門家と再検討せよと質問。担当部長は、市民への説明機会を広げると言いながら市長が説明する予定はなく、同整備事業を進めると答弁。博物館存続を求めた質問については、国際工芸美術館への美術品の引継ぎが完了次第、博物館を解体、借地は返却すると答弁。本町田小学校のとなりに開店した店舗周辺の交通安全対策を求めた質問に、道路部長は、他の店舗を参考に、必要な場合には警察と協議、店舗に申し入れると答弁しました。



殿村健一市議

「起立性調節障害」の子どもたちへの適切な対応を



田中美穂市議

田中美穂市議は、思春期に起こりやすい「起立性調節障害」について、症状が重く学校に行きたくても行けない児童生徒がいる。学校側が病気を正しく理解し、丁寧に対応をすることを求めました。学校教育部長は、タブレットの活用や教員への理解促進を行うと答弁しました。生活保護制度の周知についてポスターの掲示やホームページの改善を求めて質問。地域福祉部長は、ポスター作成は考えていない、ホームページの改善は研究すると答弁。田中市議は「まごそ周知の工夫が必要だと求めました。

インボイスは中止を求めよ

佐々木とも子市議は、若年層へのコロナワクチン接種率の引き上げ対策と、医療関係者やケア労働者には年齢制限なく4回目接種を行うよう求めました。また10月実施の消費税インボイス制度が、市内免税業者の多くに影響あるとするならば、国に中止を求めるべきと質しました。「市民センター等の未来ビジョン」の具体化については、「人と人がつながる地域のコミュニティの核となるよう、市民の意見を聞きながら検討していく」と市民部長が答えました。



佐々木とも子市議

「児童手当の所得制限撤廃を求める意見書」賛成多数で可決

議案・請願・意見書	共産党	公明党	自由民主党	無所属	議派	議決結果
2022年度一般会計補正予算	×	○	○	○	○	可決
リニアトンネル工事について市民の安全・安心を求める請願	○	○	×	×	△	不採択
南つくし野小学校の存続を求める請願	○	×	×	×	○	不採択
芹ヶ谷公園「芸術の杜」パークミュージアム推進事業について(仮称)国際工芸美術館整備及び国際版画美術館との一体的整備について協議する場を求める請願	○	○	×	×	△	不採択
児童手当の所得制限撤廃を求める意見書	○	○	×	×	○	可決

○提出 ○全員賛成 △一部賛成 ×全員反対

市長の施政方針に代表質疑

石阪市長5期目の施政方針について、市長選の争点になった学校統廃合計画や、災害時の市の役割、多摩都市モノレール採算性など9項目について、日本共産党市議団を代表して細野りゅう子市議が質疑を行いました。

小中学校統廃合計画の見直しを

細野市議は、町田市の新たな学校づくり推進計画は、3分の1の学校を削減するもので大きな負担を強いることになるが、子どもの利益を考えたのか、また、子どもにやさしいまちといえるのかと質疑しました。市長は、「今後子どもが減っていく中で学校運営を円滑に進めるためには、3〜4学級の適正規模の学校が望ましい。安全対策、人間関係の配慮を行う。」と答弁しました。しかし、通学距離や安全、地域環境などの子どもの負担軽減は根本的に解決できず、学校存続を求める市民の請願は後を絶ちません。統廃合計画は見直すべきです。

中学校給食は安全安心な直営の給食センターに

細野市議は、市民の願いにこたえてスタートする中学校の全員給食を提供する給食センターについて、「施設整備、管理、運営をすべて民間企業が行うPFI手法で、小学校給食と同じように質の高い給食を提供できるのか」と質疑しました。市長は、「市は発注者の立場から、民間事業者に対してサービス水準を要求していく。品質は確保できる。」と答弁しました。PFIになれば、町田市のかわかりは後退して、責任もあいまいになります。安心、安全な、質の高い給食を引き続き求めていきます。

市民の声を聞いて芹ヶ谷公園「芸術の杜」整備計画は見直しを

細野市議は、芹ヶ谷公園「芸術の杜」一体的整備計画について、これまでの経緯を見ても、市民に対し、説明が尽くされていない。反対の声も多く、再検討すべきだとどうかと質疑しました。市長は、「博物館を閉館して、ガラス工芸品を引き継ぐ美術館が市民から求められている。地域住民、関係団体と理解を深めながら、事業を進めていく。」と答弁。再度今後、市民にどのよう説明し、声を聞くのが質疑しましたが、文化スポーツ部長が市長と同様の答弁を繰り返すだけで、市民に対して丁寧に説明し、声を聞く姿勢は見られませんでした。

9月議会の日程

(8/29~9/30)

8/29	本会議
9/1~7	一般質問
9/8	本会議(質疑)
9/9,12	総務・健康福祉 常任委員会
9/13,14	文教・建設 常任委員会
9/30	本会議(決表)

無料法律相談

9月14日(水)・28日(水)

10月12日(水)・26日(水)

要予約 ☎042-723-6312まで

※場所が変更になる場合がありますので、必ずご予約ください。

どうぞ
お気軽に

毎月第2、第4水曜日
午後14時~17時

町田市役所3階
共産党会派室

生活相談はいつでもお受けします 724-4030(会派室)

2022年
町田市議会
第3回
定例会

18歳までの来年4月スタート! 子ども医療費助成制度



市内の都立高校に登校する高校生

高校生も医療費無料に 市民の願い届け実現

「町田市高校生等の医療費の助成に関する条例」の制定によって、2023年度から、18歳までの子どもの医療費助成制度がスタートします。これまで大人と同様に3割負担だったものが、窓口200円の負担のみで病院にかかることができます。保護者の方から「高校生は教育費が増えるのに、医療費が大人と同じ3割負担で大変だ」などの声が寄せられており、共産党市議団は、市民のみならずとも、18歳

町田市議会2022年度第3回定例会が、8月29日から9月30日まで行われました。「町田市高校生等の医療費の助成に関する条例」が提案され、全会一致で可決しました。日本共産党が提出した「旧統一協会問題の全容解明と被害者救済強化を求める意見書」は、自民、公明などの反対で否決されました。

までの医療費無料化を求めてきました。一方、所得制限があるため、約1/4の子どもの対象にならないのは問題です。小中学生の医療費助成については、2021年度から所得制限をなくしており、18歳までの子どもについても所得制限の撤廃をすべきです。

東京都に財政負担の実施の 継続を求める意見書

全会一致で可決

今回の助成制度については、東京都が3年間は全額財政支援を行います。その後は自治体が2分の1を負担することになります。今回、多摩地域でも、所得制限をなくす自治体が11市あり、対応が分かれています。さらに、23区では、18歳まで窓口負担も所得制限もない制度にしていくなか、23区と多摩地域の新たな格差となってしまう。

町田市議会は、東京都に対して「都が責任をもって恒久的に財源を負担すること」「子どもの医療費助成制度の所得制限や窓口負担撤廃」を求める意見書を全会一致で可決しました。市政、都政と連携して、引き続き改善を求めていきます。

小中学校の給食費無償化を 町田市でも

物価高騰対策の継続を

田中美穂市議は、物価高騰対策である学校給食への補助事業を来年度も継続することを求めて質問を行いました。町田市独自には考えていないという答弁でしたが、国や都の補助制度は注視していくということでした。また、給食費の無償化について、葛飾区、青森市などが無償化を予定しており、町田市での実施を求めました。市は、自治体が給食費の補助を行うことは制度上は可能だとしながらも、町田市での実施は考えていないと答弁。田中市議は、多子世帯への補助など、広く検討することを求めました。

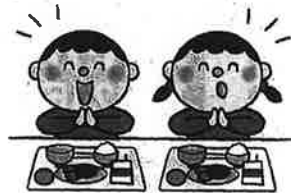
給食費の無償化を文科省に要請

や原油価格高騰などを理由にしており、値上げを想定していることは明らかです。家計負担が増えている中で、給食費の値上げはさらなる負担を課すことになり問題です。

今後、給食費の値上げを検討?

町田市は、今後、給食問題協議会に給食費の見直しについて諮問を予定していることがわかりました。物価高騰

10月5日、国会議員、都内の市区町村議員とともに文科省への申し入れを行いました。義務教育は無償とする日本国憲法に則って、国の責任で給食費無償を求めました。文科省は無償化の費用は4400億円と試算しており、財源確保が困難と答えました。軍事費2倍化でなく、教育、福祉に使うよう世論の力で動かし、市議団も力を合わせます。



物価・原油価格 高騰対策事業給付金 スタート

日本共産党はコロナ禍のもと、市民のくらしや営業を守る施策を求めてきました。第3回定例会の補正予算では、約11億円の国からの交付金を活用した物価高騰対策給付金事業が提案され、全会一致で可決しました。対象は、町田市内で営業する中小企業者や交通事業者、公衆浴場、介護・障がい者施設、幼稚園・保育園、農業従事者で、原油価格など物価高騰対策として支援金・給付金が交付されます。申請受付の締め切りがそれぞれ異なるので、町田市ホームページをご確認ください。党市議団は、物価高騰の影響を受けるすべての住民に対する緊急支援策は、消費税減税が一番有効と考え、署名運動にも取り組んでいます。

日本共産党
町田市議団ニュース

2022年11月号

発行●日本共産党町田市議団
町田市森野2-2-22

電話●042-724-4030
FAX●042-724-4042
メール●jcp.machida.shigidan@gmail.com

日本共産党町田市議団 検索

日本共産党市議団の一般質問

デジタル化から個人情報保護を求めて



細野りゅう子市議

細野りゅう子市議は、国が進める行政のデジタル化により、収集された個人情報保護について市の見解を問いました。市が収集する個人情報を保管、管理する行政クラウドについて、アメリカのアマゾンやグーグルではなく、個人情報保護の観点から慎重に選択するよう求めました。また、学校統廃合になり、学童保育クラブが削減されることで通所児童が1ヶ所あたり200人程度になることが予測され、適正な学童保育クラブの在り方を考えれば、学校統廃合そのものを見直すべきだと求めました。

コロナ禍での更なる支援策を求めて



佐々木とも子市議

佐々木とも子市議は、コロナ感染拡大から市民を守る支援策を求め質問。市民病院は発熱外来を継続し、東京都も陽性者登録センターを開設し自宅療養者支援を行っているかと答弁。また生活困窮者対策では、緊急小口資金の特例貸付(社会福祉協議会)の返済相談や国保の減免相談などに丁寧に対応するとしました。地域内交通については、「支え合い交通事業補助金交付要綱」を策定し、財政面の支援をしながら福祉車両など地域資源を活用した交通サービスを検討していきたいと答えました。

反社会的団体、統一協会から市民の暮らしを守れ



殿村健一市議

殿村健一市議は、靈感商法等を行う反社会的カルト集団・統一協会から市民の暮らしを守れと市長の認識をただしました。総務部長は、外郭団体の一つが寄付を授受していた。今後は慎重に対応すると答弁。芹ヶ谷公園パークミュージアム一体的整備計画については、市民や専門家の意見を聞き、再検討すべきと求めましたが、一体的整備の考えは変わらないと答弁。町田木曾住宅での自動運転車両の実証実験については、実用段階にはまだ時間がかかるとの答弁でした。

「包括的な性教育」の実施をもとめて



田中美穂市議

田中美穂市議は、包括的な性教育の必要性について質問しました。指導室長は、包括的な性教育とは、ユネスコの『国際セクシャリティ教育ガイダンス』に示された人間関係、ジェンダー、人権、多様性、性暴力の防止等が含まれた性教育のことだと答弁。田中市議は教育現場が萎縮せずに性教育に取り組めるよう教育委員会としての後押しを行うことを求めました。小中学校における新型コロナウイルス感染予防の対策として、都のPCR検査の活用を求めて質問。学校教育部長は、修学旅行などの前に活用してきた事例はあると答弁があり、田中市議は、さらなる活用や周知を求めました。

市民負担増、市民無視の 大型開発や公共施設再編はやめよ

21年度一般・特別会計決算認定に共産党は反対

日本共産党が決算認定に反対した理由の第1は、国民健康保険税と市民サービスの利用料値上げなど、市民負担増が行われたことです。第2に、町田市5ヵ年計画17・21の最終年度として、大型開発(芹ヶ谷公園パークミュージアム計画)、公共施設再編(新たな学校づくり)推進計画による学校統廃合、鶴川図書館、町田駅周辺公共施設の再編、民間活力導入(鶴川駅前図書館での指定管理者導入、大地沢青少年センター、ひかり療育園、子ども発達センター、生涯学習センター)の民活導入などが、市民無視で進められたことです。また、職員の削減(対前年度22人)が行われたことです。第3に、採算問題の検証をせず、市民の理解を得ないまま多摩都市モノレール町田延伸事業が進められたことです。

町田市民病院の紹介状なし

加算料 1.5倍の7000円に!

町田市民病院に紹介状を持たず受診した場合にとられる「非紹介患者加算料」を値上げする条例改正案が、共産党を除く賛成で可決され、10月1日から施行されています。医師による初診5千円が7千円に、歯科医師による初診3千円が5千円になるなど、平均1.5倍の値上げです。75歳以上の医療費2倍化など医療に占める自己負担が増加する下で、国の社会保障削減と一体となった「非紹介患者加算料」の値上げはまちがっています。



無料法律相談

どうぞ
お気軽に

11月24日(木)

12月7日(水)・21日(水)

午後2時~5時

予約 ☎042-723-6312まで

町田市役所3階
共産党会派室

※場所が変更される場合がありますので、必ずご予約ください。

生活相談はいつでもお受けします
724-4030 日本共産党会派室

2022年
第4回
町田市議会
定例会報告

市民合意と道理のない 「芹ヶ谷公園パークミュージアム計画」は 市民参加で再検討を!

日本共産党町田市議団



〔(仮称)国際工芸美術館イメージ図〕2022年5月、説明会資料より

町田市議会2022年第4回定例会が、11月30日、12月23日まで開催されました。共産党が提出した「大軍拡の中止を求める意見書」は、自民、公明などの反対で否決となりました。「町田市個人情報保護施行条例」など関連条例の「改正」について共産党は、個人情報保護を確保する市独自の「条例」の「骨抜き」になるとして反対しましたが、多数で可決しました。

さらに増える工事費
44億8千万円に!

(仮称)国際工芸美術館実施設計において、当初の工事費28億6千万円が資材高騰等の影響で6億6千万円増額になり、減額分を引いても4億

8千万円増え、一体的整備の費用総額が44億8千万円に膨れ上がることが、文教社会常任委員会の行政報告で明らかになりました。

樹木と土壌が削られた斜面地に
建築意匠のない「ハコモノ」が

(仮称)国際工芸美術館は、500本の樹木とタンブ1800台分の土壌を削った斜面地に造ります。大雨時には美術館の収蔵庫を、土留めにする。と、芹ヶ谷公園を生かして設計した国際版画美術館とは違い、自然を壊してまで建築意匠(芸術性)のない「ハコモノ」をつくる必要があるのでしょうか。

近隣住民は「計画」に反対、対案!
市民の声を聞いてほしい市長

(仮称)国際工芸美術館建設の建築審査会に対する近隣住民のほとんどが市の「計画」に反対で、「がけ地から平地へ移してほしい」と要望しています。ところが、石阪市長は、こうした市民の声を傾けようと

せず、一体的整備の「計画」を見直そうとしません。市民の理解と合意のない「計画」は認められません。

芹ヶ谷の自然と版画美術館を活かし
市民専門家とともに「計画」見直しを

芹ヶ谷公園は、太古の時代から人間が住み続けてきた水と緑の谷戸の風景が残る「風致公園」です。そこに建てられ、市民とともに歴史をつくってきた国際版画美術館は世界に誇れるミュージアムです。市民の理解が得られない「現計画」は白紙撤回し、市民や専門家がもつ豊かな知恵と創造力を活かした後世に残る芹ヶ谷公園像を再検討すべきです。



南三小廃校計画見直しを!

請願は継続

「町田市立南第三小学校廃校見直しを求める請願」が1946名の署名とともに出され、文教社会常任委員会で審議されました。請願者から、統合対象校から一番遠い地域を1500軒訪問し、その85%が廃校に反対の意見であること、住民は学校の存続を求めているという資料が提出されました。田中美穂市議が、こうした地元の声をどう受け止めているのかと質問、新たな学校づくり推進課長は「統合校から距離が遠い地域でこうした声が出るのは、致し方ない」と住民の願いに背を向ける答弁。請願は継続審査となり、次の議会で審議されます。採択されるよう、引き続き力を尽くします。

町田市への児童相談所設置へ一歩

町田市は、公共施設再編計画に基づいて、木曾東の教育センター施設の複合化について「子ども・子育てサポート等複合施設整備基本計画(素案)」をまとめ、市民意見を公募しました。この施設は、子ども・子育てに関するサービスの提供の拠点と地域の利便性と賑わいを創出することを目的として、これまでの「教育センター」「子ども発達センター」「子ども家庭支援センター」などが整備される方針です。また、この施設の中に都立の児童相談所も誘致することが盛り込まれました。

現在は、八王子児童相談センター(以下児相)が町田市を担当していますが、地域も広く人口も多いため、町田への児相設置は市民の長年の要望であり、日本共産党も求めてきました。東京都は多摩地域の児相の管轄区域の見直しを行っていましたが、この度、町田児相が新設される等の見直し案が市長会に示されました。



日本共産党
町田市議団ニュース

2023年2・3月号

発行●日本共産党町田市議団
町田市森野2-2-22

電話●042-724-4030
FAX●042-724-4042

メール●jcp.machida.shigidan@gmail.com

日本共産党町田市議団

検索

日本共産党市議団の一般質問

生活保護の申請は国民の権利です



佐々木とも子市議

佐々木とも子市議は、「生活保護の申請は国民の権利」という厚労省の見解を示し、町田市における制度の理念を質しました。地域福祉部長は、「憲法第25条(生存権)の理念に基づき、生活に困窮する者に対し最低限の生活を保障するもの」と答えました。高齢者への聞こえの支援については、次期介護保険事業計画の策定に向け、「健康とくらしの調査」に市独自で聞こえに関する項目を加えたとし、補聴器購入費補助は国や都、他自治体の動向を注視していくとしました。

鶴川図書館は「図書館」として存続を



田中美穂市議

田中美穂市議は、公立図書館として鶴川図書館の存続を求め質問。鶴川図書館については、予約図書を受け渡しはできるものの、図書館の蔵書は置かず、「図書館」から「地域施設」に移行すると自治会などに説明をしたと答弁がありました。田中市議は、これまで、市が行ってきたワークショップなどでは、「図書館」を前提として市民がさまざまなアイデアを出している、市民の声に応じて図書館機能を残すことを求めました。鶴川地域のバスの大幅な減便について、バスの本数を戻してほしいという住民の声を紹介して質問し、都市づくり部長は、住民の声をバス事業者に伝えると答弁。

直営の「子ども発達センター」の継続を



細野りゅう子市議

細野りゅう子市議は、民間への移譲、委託が検討されている「子ども発達センター(すみれ療育園)」運営管理を直営で行うよう求めました。幼児施設や教育施設との連携、手厚い療育体制の整備など市の責任で行うべきです。地域福祉部長が「民間活力の活用をするため事業者をあたっている」と答弁。また、見直しが検討されている「障がい者青年学級」は、存続、拡充を求めました。生涯学習部長は「生涯学習センター運営見直し実行計画において検討する」と答弁。当事者の声を聴くよう求めました。

老いても人間らしく生きられるまちを



殿村健一市議

殿村健一市議は、秋田に住む母親が認知症になり、亡くなるまでの間、在宅や施設介護を受ける中で経験したことや町田の介護現場で働く方々との懇談をもとに、「老いても人間らしく生きられるまちを」を求めて質問。厚労省が検討している「給付と負担の見直し」の中で、利用料の2割負担化や要介護1・2を保険給付外にするなど介護保険の削減はやめるよう、市長から国に要求せよといただきました。また、認知症対策の充実、低すぎるケア労働者の賃金引き上げや増員を求めました。住民合意のない芹ヶ谷公園パークミュージアム「一体的整備」計画は白紙撤回し、市民と専門家の参加で再検討すべきだといただきましたが、市長は、現「計画」を進めると答えました。

個人情報保護の一元化に共産党反対

12月議会では、「個人情報保護の保護に関する法律」(個人情報保護法)の改正に伴い、町田市がこれまで独自に条例をつくり運用してきた「個人情報保護条例」を廃止して、国の「個人情報保護法」に一元化するための関連議案5本が提案されました。日本共産党市議団は、地方自治体が保有する膨大な個人情報をオープンデータ化しオンライン結合させることで、民間企業の利活用を可能にするものであると反対しましたが、賛成多数で可決されました。

リニア新幹線 小野路の「調査掘進」は中止を!

昨年11月、町田市を通るリニア中央新幹線について、JR東海は、小野路から小山田方面にトンネルを掘るシールドマシンの組み立てが完成し、1月以降にトンネルを掘り始める「調査掘進」を行うと説明会を開催しました。参加した住民から工事の影響への不安や、リニア中央新幹線自体への疑問の声が多数出されました。田中美穂市議は、12月23日山添拓参議院議員と共に国交省に対し、先行して工事が行われている品川や愛知県坂下西でシールドマシンの不具合があり、原因究明が不十分なままJR東海に進めさせることは問題だと問いいただきました。



「学校給食費の無償化を求める意見書」全員で可決

請願・議員提出議案	共産党	まちなみクラブ	公明党	民主党	自由	進められる町田を会	無所属	諸派	議決結果
英語スピーキングテストの結果を都立高校入試へ活用しないことを求める意見書提出を求める請願	○	×	×	×	×	×	×	×	不採択
学校給食費の無償化を求める意見書	署名○	提出◎	○	○	○	○	○	○	可決
保育士の配置基準の改善を求める意見書	◎	○	×	×	×	○	△	△	否決
介護保険の負担増と給付減を行わないことを求める意見書	◎	△	×	×	×	×	×	×	否決
「軍事費5年間43兆円」の大軍拡の中止を求める意見書	◎	△	×	×	×	×	×	×	否決

◎提出 ○全員賛成 △一部賛成 ×全員反対

無料法律相談 どうぞお気軽に

2月8日(水)・22日(水)
3月8日(水)・22日(水) 午後2時～5時

要予約 ☎042-723-6312まで 町田市役所3階 共産党会派室

*場所が変更される場合がありますので、必ずご予約ください。

生活相談はいつでもお受けします
724-4030 日本共産党会派室